

# 3段階の課題に向き合いながら 新サービスの実現や効率化を促進

## 課題

### 新技術の開発で 新たな市場を拓く

株式会社メイセイプリントは、昭和58年に先代社長が創業した文具店兼印刷物受注窓口会社が前身。10年後に市場変化に対応して、名刺、封筒、伝票類の印刷を主業務とする現在の会社を設立、さらに圧着ハガキの自社生産を開始し、事業の中心を圧着DM、宛名印字分野に移行した。

平成27年に現経営者が社長が就任してからは、UV印刷による圧着ハガキ、フチ糊圧着DMの生産を他社に先駆けて開始、さらにプライバシーマークを取得し、印刷から投函までをワンストップサービスで行う一貫生産体制を構築した。その後も先進的な取り組みを続け、最新印刷機、フチ糊メーカーシステムなどの設備を基にした技術力を武器に、得意先は東京、名古屋、大阪の印刷会社数百社にまで拡大している。

同社の課題は、大きく3段階に分けることができる。まず第1段階としては、新製品や新生産体制の構築とそのための資金調達。第2段階は、高品質、低価格などの顧客ニーズに応える生産体制の構築と販路拡大。さらに第3段階として、作業効率の向上や生産プロセス、情報セキュリティの強化、両面可変印字、大判DMサービスの開発などが挙げられる。

## 支援

### 新製品の開発から 危機管理まで幅広く支援

前述した課題に対して、清須市商工会では、経営革新計画やものづくり補助金を活用して伴走支援を行ってきた。

第1段階では、最新鋭のシーラー機、オフラインコーティングマシンを導入し、フチ糊圧着DMなどの新製品開発を支援。第2段階では、特別仕様の大型・高速印刷機の導入により、新たな生産方法を確立、インキ剥がれを排除した高精度のサービスを実現。また新工場開設、検版システムの導入により工程の短縮化、人的・物的コストを削減した。さらに第3段階の支援として、作業ロス、時間ロスを解消し、作業効率を向上させるための施策を提案。セキュリティルールの設置による情報流出のリスクを回避や、両面可変印刷機の導入などで課題の新サービスの実現も支援した。

こうした経営計画の実現により、同社の売上高、利益高



本社工場内の圧着DM製造フロア

は大幅に増加し、たとえば第2段階での経営革新計画、ものづくり補助金採択による事業実施後は、売上高6億4100万円（前年比6.0%増）、売上総利益3億8430万円（同12.1%増）を計上した。

今後もワンストップサービスなど提案型営業で培ったノウハウを活かして、同社では広告DMを中心に顧客・販路の拡大を図っていく。

## 支援の経過

期間	支援内容
H23.年12月～ H24年10月	経営分析～経営革新計画の策定支援
H24年12月～ H25年3月	設備導入支援(設備資金貸付制度)
H26年1月～ H26年4月	関東工場計画、経営革新計画の策定支援
H26年3月～ H26年5月	ものづくり補助金の申請支援
H28年6月～	本社工場建設計画、経営革新計画の策定支援

## 会社概要

会社名：株式会社メイセイプリント  
 所在地：愛知県北名古屋市鍛冶ヶ一色西2-141  
 電話番号：0568-26-1385  
 URL：http://www.dm-g.co.jp  
 代表者名：代表取締役社長 渡辺達也  
 創業年：平成5年（法人設立）  
 年間売上高：6億6666万円（平成30年）  
 従業員数：37名  
 商工会名・担当者名：清須市商工会・鶴木千絵